

議長 吉川隆之 副議長 服部礼美香

監査委員 曾我部博隆

(敬称略)

9月30日(月)、議会の役員選出が行われました(議会は申し合わせにより1年で交代)。その結果、議長に吉川隆之氏、副議長に服部令美香氏を、また各常任委員会の構成も次の通り決まりました。また議会選出監査委員に曾我部博隆氏に同意しました。

各種委員会の構成は次の通りです。(敬称略)

総務委員会(9名)

◎平野加洋子(創) ○鈴木純子(市)

大野紀之 杉山太希 津田敏樹 吉川隆之 六鹿順二

(以上創) 木全信明(市)

平野泰弘(維)

文教厚生委員会(9名)

◎岡野次男(市) ○鵜野大助(創)

北村太郎 黒田哲生 服部礼美香(以上創) 志智央

(市) 朽本敏子(公)

曾我部博隆(共) 山田崇夫(無)

経済建設委員会(8名)

◎近藤治夫(創) ○日比野貴子(公)

土岐優子 平床健一 木村喜信(以上創) 星野俊次

(市) 服部俊夫(共)

小柳彩子(参)

議会運営委員会(8名)

◎津田敏樹(創) ○志智央

(市)

平床健一 平野賀洋子 黒田哲生(以上創) 星野俊次(市) 朽本敏子(公)

服部俊夫(共)

議会改革推進特別委員会(8名)

◎星野俊次(市) ○杉山太希(創)

土岐優子 北村太郎 津田敏樹(以上創) 志智央

(市) 朽本敏子(公)

服部俊夫(共)

後期高齢者医療広域連合(1名)

服部礼美香(創)

◎委員長 ○副委員長

創：創生会 市：市民クラブ

公：公明党 共：共産党

参：参政党 維：日本維新の会 無：無所属

参政党・維新の会も市議1人なので無所属の扱いです。

都市計画審議会(5名)は任期2年で変更はありません。

国保運営協議会(5名)は任期2年ですが、文教厚生委員会委員長が入るため、星野俊次氏から岡野次男氏に交代します(10月から)。



日本共産党は①稲沢市立学校調理場の設置及び管理に関する条例の一部改正、②愛知県後期高齢者医療広域連合規約の一部改正、③一般会計補正予算に反

対

服部俊夫市議は「①は学校給食の自校調理の廃止を前提に、『井之口給食センター』を来年9月から稼働します。自校調理方式は身近で感謝の気持ちや伝えることができ、つくる人の励みにもなっています。給食センターではなく、自校調理方式を重視するべきです」と、反対の理由を述べました。

「②は12月にマイナンバーカードと被保険者証を一体化するため、『被保険者証と資格証明書』を『資格確認書等』に変更する。石破氏(10月1日に首相に就任)は『納得しない人がいっぱいあれば、併用も選択肢として当然だ』と

いっていましたが。保険証の原則廃止は断念するべきです」と述べました。

また補正予算について第1に、「新型コロナ定期接種ワクチンは自己負担を無料にするべきだ(稲沢市民の自己負担額は2千円)」と訴えました。

第2に「若い世代が結婚できないのは経済的ハードルが高いことにある。自治体の『婚活』支援は結婚・出産の圧力となり、女性の自己決定権を脅かす恐れもある」と述べました。

さらに「給食運搬委託料として令和6〜12年度まで3億円の債務負担行為を組んでいるが、自校調理なら配送の手間がいらぬ。調理員・調理補助員の処遇改善を図るべきだ」と訴えました。

①および②は日本共産党議員団、③は日本共産党議員団と小柳彩子市議が反対しましたが、可決成立しました。

決算は12月議会冒頭で採決

2023年度の決算認定は10月の決算特別委員会(委員長 津田敏樹氏)で審議し、12月議会の冒頭で認定を議論します。